

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)	平成30年度 第4回相模原市地域福祉推進協議会			
事務局 (担当課)	健康福祉局 福祉部 地域福祉課 電話 042-769-9222(直通)			
開催日時	平成31年3月25日(月)午後2時30分～午後4時30分			
開催場所	相模原市民会館2階 第2大会議室			
出席者	委員	15人(別紙のとおり)		
	その他	2人(市社会福祉協議会職員)		
	事務局	6人(福祉部長、地域福祉課長他4人)		
公開の可否	可	不可	一部不可	傍聴者数 0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第	<p>1 委 嘱</p> <p>2 議 題 (1) 第4期地域福祉計画の策定にかかるアンケートについて (2) 基本理念及び基本目標について</p> <p>3 その他 (1) 相模原市地域福祉推進協議会の部会設置について</p> <p>4 閉 会</p>			

## 審 議 経 過

主な内容は次のとおり。( は委員の発言、 は事務局等の発言)

### 1 開会

### 2 議題

#### ( 1 ) 第 4 期地域福祉計画の策定にかかるアンケートについて

平成 3 0 年 1 2 月に実施した、第 4 期地域福祉計画策定にかかるアンケート調査について、資料に基づき中間報告を行った。

アンケートの実施は大変だったと思うが、ライフステージに合わせた分析を行っても良かったのではないかと感じる。地域の中には、40代～50代で福祉的な援助を受けられず、就労や住宅の問題を抱えている人がいる。8050問題を抱えている世帯もいる。人とのつながりについても、60代前半から高齢になるにしたがって、自らの役割がなくなると、相談する相手もいなくなるということが見えてきている。今回のアンケート結果からは、こういった背景はわかりにくいという印象を受けた。

アンケート結果を年代別にまとめているが、回答した方の背景などを踏まえて分析する必要があると考えるので、もう少し細かく分析したいと考えている。○回答者が1,560件という数だが、ここからクロス集計を行うと、さらに母数が少なくなるので、本当に必要な分析ができるのか、という印象を受ける。一方で、アンケート結果からは、市民が福祉に関する情報を得る際に、思っているよりも SNS やインターネットを活用していることがわかった。こういった結果を踏まえて、情報発信を行っていけばよいのではないかと感じた。

○地域福祉の取組を地域の方にどのように知ってもらおうかという視点で話すが、市の広報を活用した PR にもっと取り組む必要があると思う。活動の強化月間中にこれまでよりも大きい記事を掲載して、市民にアピールしたほうがよい。

○アンケートの結果として知りたかったのは、市民が福祉について、どれだけ認識されているかであった。取組について知らないという回答が多かったことは残念であった。行政の取組は進んでいるが市民に知ってもらえていない。福祉の分野ではその度合いが大きいと感じる。せっかくサービスを充実しても十分に効果が発揮されていない。知ってもらうことに重点的に取り組むことが大事である。手法についても、新たな方向性を示してほしい。

○地域福祉活動を一生懸命取り組んでいる側からすると、これほど知られていないという結果が出たのは寂しいと感じる。どうして知らないのだろうと思うが、我々は市民に情報を提供するときは、自治会の回覧板を活用して周知するが、今自治会加入率は低い状況であり、必要な情報が届いてない。課題の解決策として、

必要な資料を全戸配布している。そうすると、その情報を見た方から少しずつ連絡が入って来る。工夫すれば、情報が伝わるのがわかったが、よりよい周知の方法については、今後検討していく必要があると考える。

○自治会加入率の話がでたが、頭が痛い話で、現在、半分強という状態である。様々な工夫をしており、今後も加入率向上に努めていきたい。アンケートの結果は、予想どおりだなと感じた。せっかくのデータだから、もうちょっと掘り下げてほしい。例えば中山間地域と都市部や区ごとの違いなどで分析してほしい。原因をしっかりと把握して効果的な手を打つことが大切である。

○広報は重要という話が出たが、新聞を取っていない人とか、普段情報はネット、スマホで見るといふ人も増えており、そういった方は広報を目にしない。これからは、こちらから届けるという積極的な情報伝達の方法を考えないと周知は進まないのではないかと感じた。

　　今後は、相談窓口がアウトリーチする必要がある。これからは福祉を知らない人に福祉のことを知ってもらうことが最も大事だと考えているので、第4期地域福祉計画にも反映していきたい。

○アンケート結果では、生活に困っている人は周りにいないと回答している方が大変多いという結果が出ているが、これは実態とは違うと考える。生活に困っている人がいないのではなく、困っている人がみえない、困っている人を知らないということがあるのではないか。

　　生活に困っている人が見えなくなっている。困っている人自身が周囲に対して見えないようにしている、ということも課題だと捉えている。困っているそぶりを見せない人がいることが、貧困につながっていると考ええる。

○地域で困りごとを抱えている方の支援を進める中では、市が行うこと、地域の人間が行うこと、コミュニティソーシャルワーカーや民生委員が行うことがそれぞれあり、役割は異なるが、問題をみんなで共有して、そのうえで困りごとを抱えている方に接することが大切である。

○アンケートについては、いろんな意見が出ているので、次の計画策定にいかしてもらいたい。

## (2) 基本理念及び基本目標について

資料に基づき、第4期地域福祉計画における基本理念及び基本目標の内容について説明を行った。

○今後の目標として、人材づくり、関係づくり、体制づくりと設定することは理解できる。第4期地域福祉計画を策定するためにアンケート調査を実施したということだが、日常から地域福祉を進める上でも、アンケートは非常に大事だと考

えている。今回は3,000人を対象としているが、これからは単発でもいいから、対象を絞って調査を行ってほしい。例えば、年代別、対象者別、子育て世帯、低学年の子どもを育てている世帯、70代の独居老人など。それぞれで抱える課題は違うはずである。そういったことを細かく収集しながら、どのように地域福祉の取り組みを進めればよいか考えてほしい。

○基本目標の柱はこれでよいと思う。資料には「地域共生社会の実現」について触れられているが、目標の中にも、「地域共生社会の実現」という言葉を盛り込んだ方がよいのではないか。また、共生社会の考え方も狭義に捉えず、性同一障害の方、外国人の方、障害のある方との共生の視点も加えてほしい。本市でもそういう視点も取り入れて、計画を策定してほしいと考えている。

○第3期の計画を取り組んで、どういう課題があったのか、課題を解決していくためには、今後どういうことに取り組むべきかをまとめて、次の計画策定に取り組むことが大切である。第3期の地域福祉計画を実行した結果の分析はどうなっているのか。

第3期地域福祉計画の分析としては、毎年度、取組状況について報告している。今の計画には成果指標と補助指標を設けており、補助指標については、毎年報告できることから、当協議会に取り組みの成果や課題について報告して評価いただいているところである。

○地域福祉への取組方針を決める地域福祉計画を市が作って、それをどう実現するかを具現化するのが、市社会福祉協議会で策定する地域福祉活動計画である。こうやって作っていく計画は他にはない。行政がつくる地域福祉計画は理念をしっかりと捉えていただいて、行政の役割、地域の役割をできるだけはっきりさせてもらえれば良い。計画期間である4年ですべての課題を解決できるわけではない。計画に基づく取組がどれだけ進んだのかを検証し、残った課題を解決するために、新たな計画でどれだけ取り組めばいいのかを決めていく。これを繰り返していくしかないと考えている。アンケートについては、一定の方向性は出ていると認識している。市は、これに基づいて、取り組むべき方向性をしっかりとらえてもらいたいと考えている。

### 3 その他

#### (1) 相模原市地域福祉推進協議会の部会設置について

資料に基づき、第4期地域福祉計画の中で、市成年後見制度利用促進基本計画及び市再犯防止推進計画内容を盛り込むにあたり、専門的に調査審議を行う必要があることから、平成31年4月から、地域福祉推進協議会に部会を設置することを報告した。

4 閉会

相模原市地域福祉推進協議会委員 出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	小野 敏明	特定非営利活動法人日本地域福祉研究所 田園調布学園大学名誉教授	会 長	出席
2	原 和教	相模原市高齢者福祉施設協議会		出席
3	鈴木 純恵	相模原市障害福祉事業所協会		出席
4	吉岡 輝明	相模原市私立保育園・認定こども園園長会		出席
5	戸塚 英明	社会福祉法人相模原市社会福祉協議会		出席
6	森川 哲郎	相模原市自治会連合会	副会長	出席
7	飯沼 守	相模原市地区社会福祉協議会		出席
8	原 裕子	相模原市民生委員児童委員協議会		出席
9	石関 清美	特定非営利活動法人相模原ボランティア協会		出席
10	渡辺 幸雄	公募市民		出席
11	箱山 京子	公募市民		出席
12	江崎 智彦	神奈川県弁護士会		出席
13	田中 和亜	公益社団法人 成年後見センター・ リーガルサポート 神奈川県支部		出席
14	志方 洋一	公益社団法人 神奈川県社会福祉士会		出席
15	江藤 博之	相模原市保護司会協議会		出席